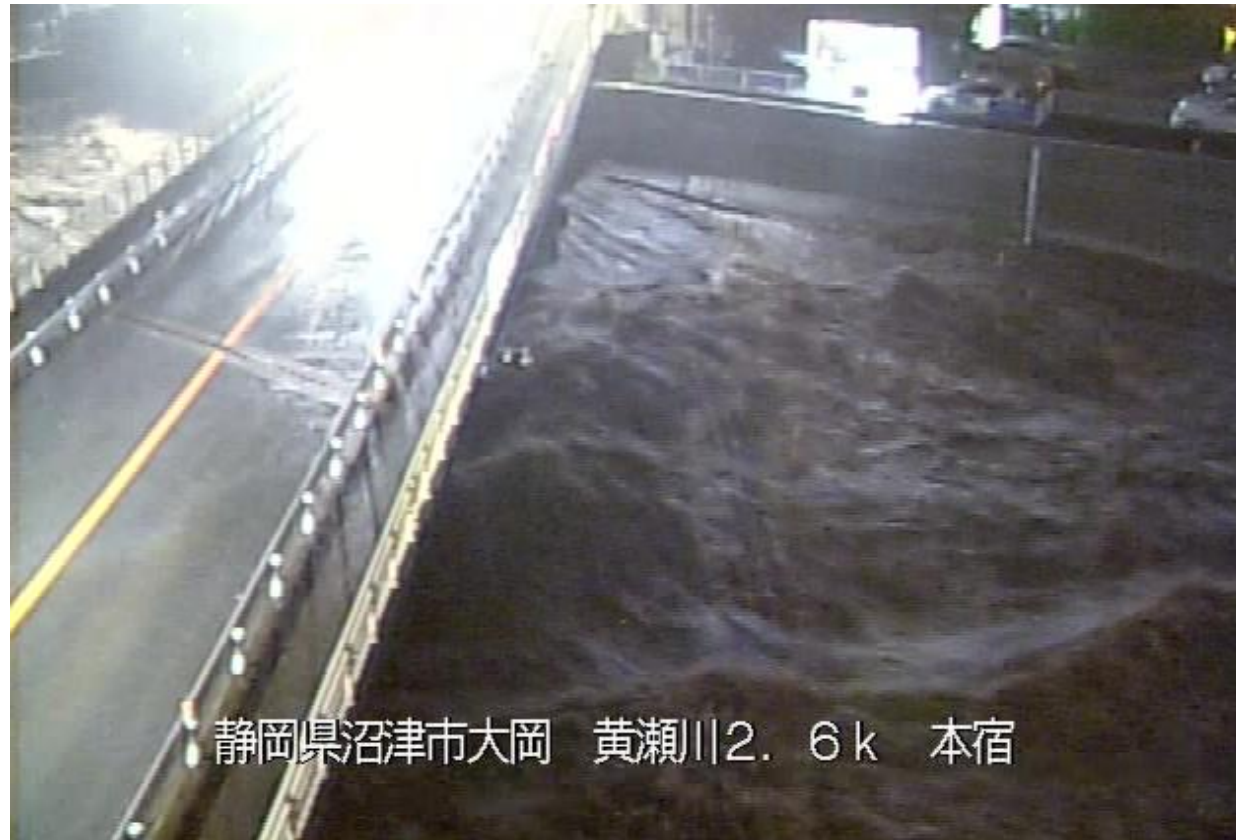


# 令和7年9月11日 前線に伴う狩野川水系の出水状況(第2報)



静岡県沼津市大岡 黄瀬川2.6k 本宿

令和7年9月30日

中部地方整備局 沼津河川国道事務所

# 1. 狩野川流域の気象状況

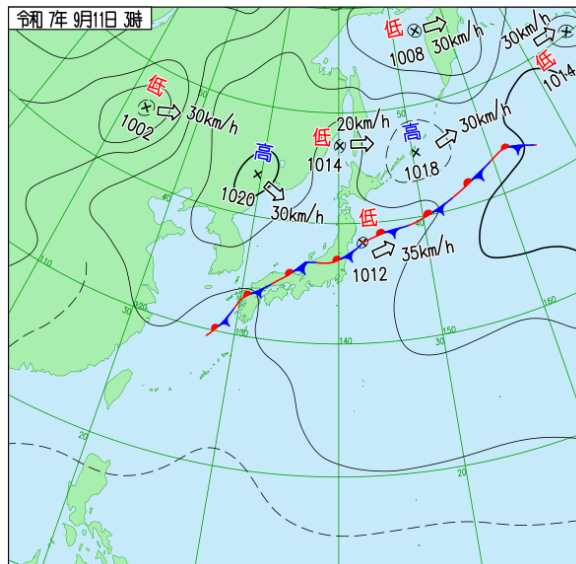
- 令和7年9月11日の降雨では、前線に伴う降雨により、<sup>あしたか</sup>愛鷹雨量観測所で1時間に83mm、<sup>すやま</sup>須山雨量観測所で1時間に91mmの雨量を観測し、局地的に猛烈な雨となりました。
- <sup>きせがわ</sup>黄瀬川の<sup>ほんしゆく</sup>本宿水位観測所で氾濫危険水位を超過しました。
- 降り始めからの総雨量が200mmを超えた雨量観測所はなく、今回の出水は短時間に集中した降雨によるものでした。

最大60分間降水量(9月10日21時～11日9時まで)

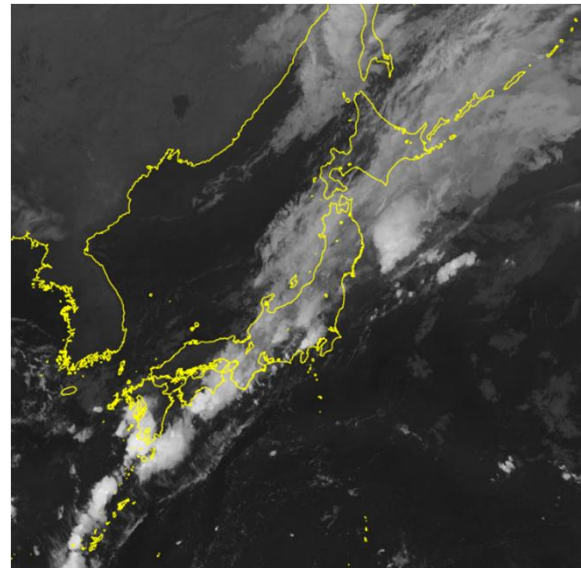
- ◆<sup>きせがわ</sup>黄瀬川  
<sup>あしたか</sup>愛鷹雨量観測所で83mm(9/11 3:00～)  
<sup>すやま</sup>須山雨量観測所で91mm(9/11 1:50～)

累加降水量(9月10日21時～11日9時まで)

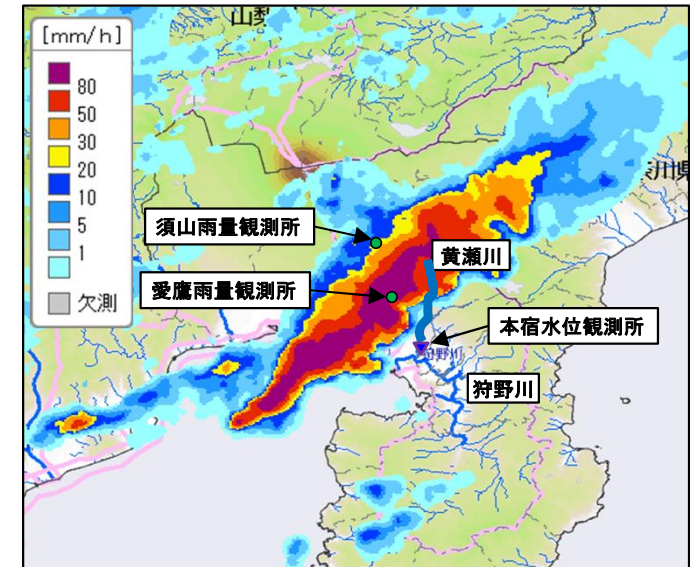
- ◆<sup>きせがわ</sup>黄瀬川  
<sup>あしたか</sup>愛鷹雨量観測所で101mm  
<sup>すやま</sup>須山雨量観測所で171mm



9月11日3時天気図(気象庁HPより)



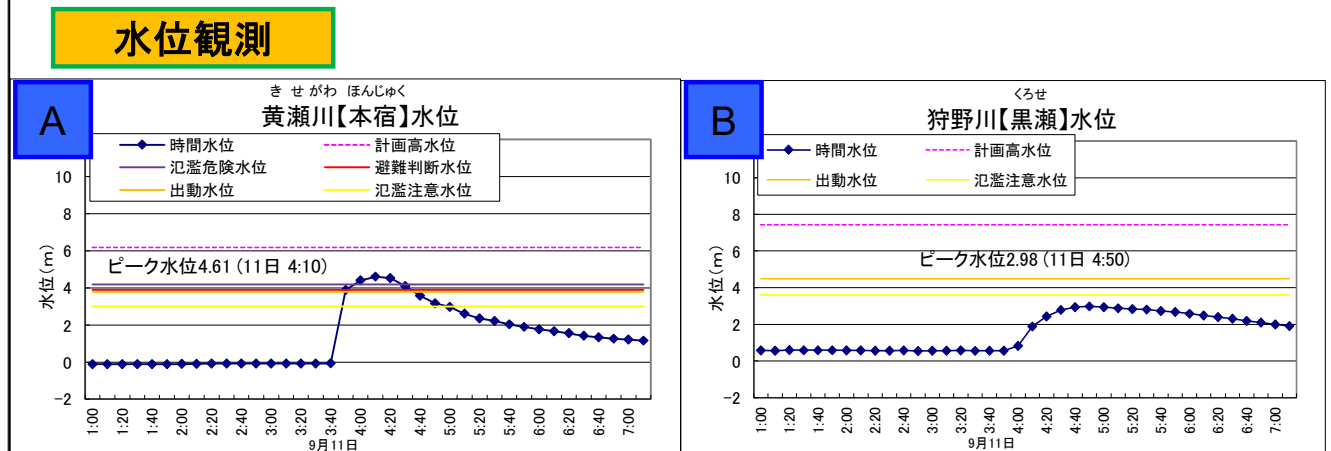
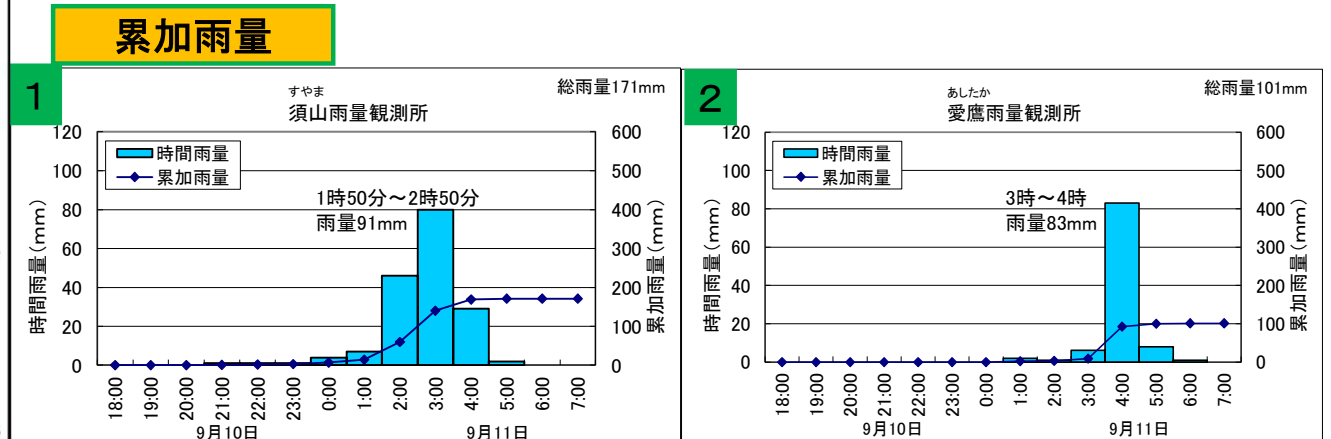
9月11日3時衛星画像(気象庁HPより)



9月11日3時頃の雨量レーダー画像

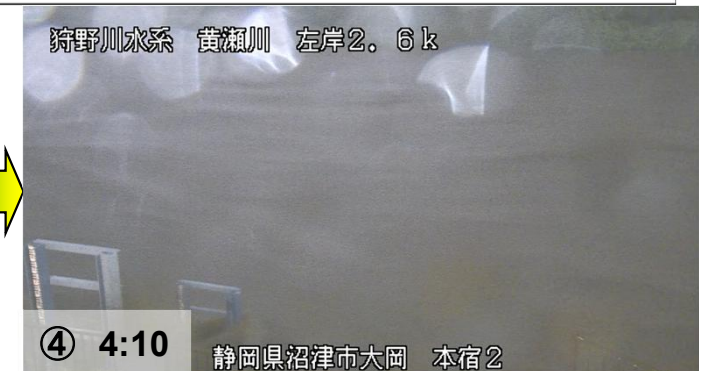
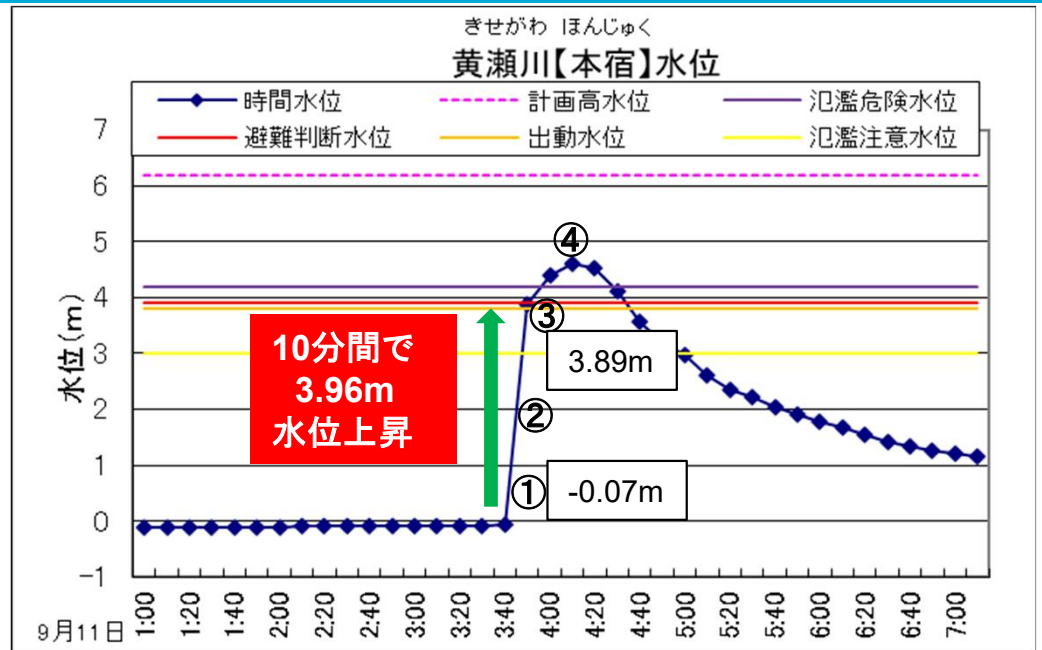
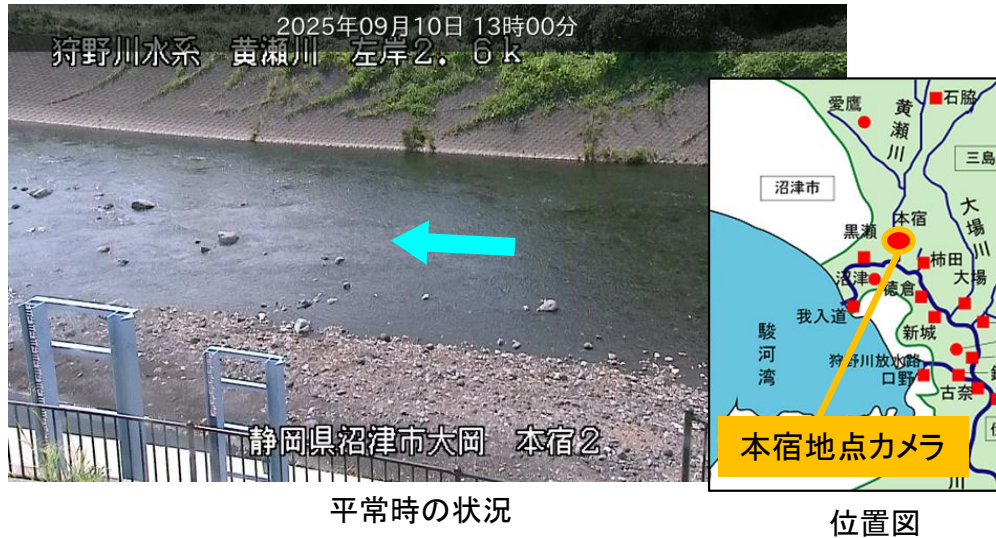
## 2. 雨量・水位の状況

- 今回の出水は、本宿水位観測所で氾濫危険水位を超過し、狩野川合流後の黒瀬水位観測所も水位が上昇しました。
- 黄瀬川流域を中心とした集中豪雨であり、狩野川本川の基準水位には達しなかったことから、今回の出水で狩野川放水路への分派は行いませんでした。
- 黄瀬川本宿水位観測所では、3時40分の-0.07mから3時50分の3.89mに、10分間で3.96m水位が上昇し、避難判断水位まであと0.01mとせまる急激な水位上昇を観測しました。



# 3. 出水状況写真

## きさがわ ほんじゆく ○黄瀬川(本宿)



短時間豪雨により、  
上流から一度に  
大量の水が  
押し寄せる様子

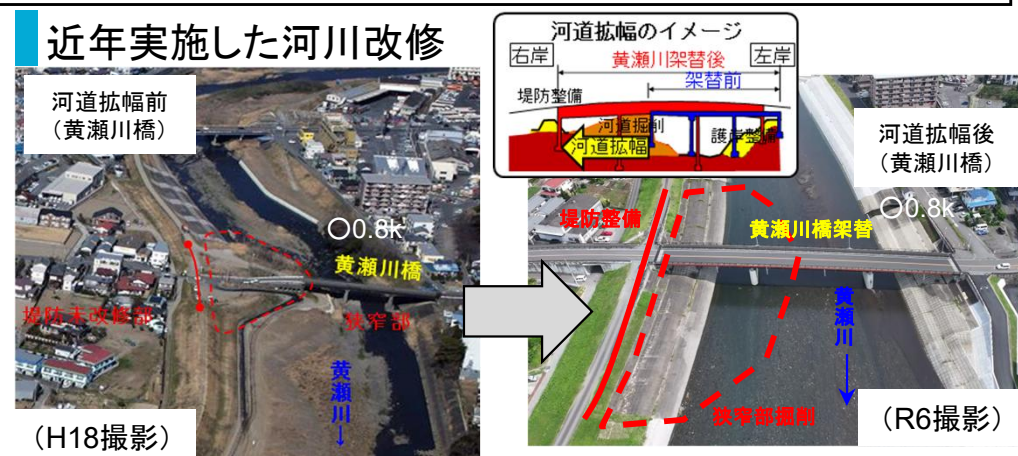
過去の黄瀬川では、平成20年7月に10分で2.71m、平成26年9月に10分で1.75m、令和6年11月に10分で1.73mの水位上昇を記録していますが、今回出水はそれらを大幅に上回る記録でした。

# 4. 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策を含む継続的な治水対策による水位低下効果

○狩野川水系黄瀬川では、令和7年9月11日からの大雨により、愛鷹雨量観測所で累加雨量101mm、須山観測所で累加雨量171mmを観測し、氾濫危険水位を超過しました。

○近年の河道拡幅(黄瀬川橋)【H17～H25】や、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策による河道掘削【H30～R2】等を実施したことで、今回の出水は約0.9m水位が低下してHWL(計画高水位)以下となり、浸水被害(想定被害額約110億円)の発生を防止しました。

※本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります



## 5. 出水時の活動

- 今回の出水にあたり、河川管理者・維持業者等の関係機関が連携し、河川巡視、施設点検等を実施しました。
- 点検の結果、河川管理施設に被害は生じていませんでした。



国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 流域治水課  
〒410-8567 静岡県沼津市下香貫外原3244-2 TEL:055-934-2009  
事務所ウェブサイト <https://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/index.html>

